

令和6年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2	学年	2	類型	カレッジコース
教科書	新 論理国語			副教材	新 論理国語 学習課題ノート				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点	
				知	思	主		
1 学期	4	1 論点を整理するために	若者に友達プレッシャー 論理の展開を的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握させる。	○	◎		<p>学習のねらい</p> <p>1学期は、「他者」をテーマとした文章を読み、「社会に対してどのように向き合っていく必要があるのか」考えます。また、「言葉・言語」をテーマとした文章を読み、言葉自体を見つめ直し、さまざまな資料を用い、飛車の考え方を読み取ります。</p> <p>2学期は、「経済」をテーマとした文章を読み、筆者の意図について、文脈から想定されるものについて考えます。また、「働くこと」をテーマにした文章を読むことで、労働に対する認識を深めるとともに、文章の中でどのように情報が用いられるのかを学びます。</p> <p>3学期は、「グローバル化」をテーマとした文章を読み、言葉として知るだけではなく、これらが何をもちたらずことなるおかについて、認識を広げ、これからの社会に生きるための考え方の基礎を形成していきます。</p>	
			"	○	◎			
			"	◎	○			
	5	自分を捉え直す	文章の効果的な組み立て方について理解を深めさせる。	◎	○			
			"	◎	○			
		2 正しく推論するために	一人で爆笑 言葉のもつはたらきに注意して本文を読解させる。	◎		○		
	6	カタカナ語は享受すべきか	本文の構成と筆者の主張について理解させる。	◎		○		
			本文から読み取ったことを根拠に、自分の考えをまとめさせる。	○	◎			
			的確に伝える 効果的な段落の構成や論の形式について理解を深めさせる。	◎	○			
				期末考査	◎	◎		
	7	3 事例の意味を探るために	それぞれのしっくりくる言葉 本文における事例と順序を整理し、構成の効果を理解させる。	◎	○			
			主張の妥当性や信頼性を吟味して本文を解釈させる。		◎	○		
2 学期	8							
	9	3 事例の意味を探るために	多様な視点から考える 文章の構成や展開の仕方について理解を深めさせる。	◎		○		
				用いられている事例の役割や効果を捉えさせる。	○	◎		
	4 構成を吟味し説得力を高めるために	落語の中の経済学 推論の仕方について理解を深めさせる。	◎		○			
	10	落語の中の経済学 推論の仕方について理解を深めさせる。	中間考査	◎	◎			
			"	○	◎			
		落語の中の経済学 推論の仕方について理解を深めさせる。		○	◎			
		ホンモノのおカネの作り方 文章の構成や展開の仕方について理解を深めさせる。		◎		○		
	11			書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めさせる。	◎	○		
			"		◎	○		
	5 信頼性を吟味するために	なぜ私たちは労働するのか 文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈させる。		○	◎			
		"	期末考査	◎	◎			
12	「すべり台社会」と「溜め」 用語を理解するとともに、本文の構造をまとめさせる。		◎	○				
		"			◎	○		
	立場や論点を明確にする 文章の構成や展開、説明の仕方について認識を深めさせる。		◎	○				
3 学期	1	6 隠れた前提を探るために	地球上の「旅人」 筆者の表現の特徴や主張をまとめさせる。	◎	○			
			論理の展開と書き手の意図との関係について、多面的な視点から考える。	○	◎			
			"	◎		○		
	2	誰かの靴を履いてみる 筆者の体験と主張の関係を整理させる。		◎	○			
			"		◎	○		
			本文と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえさせる。	○	◎			
			学年末考査	◎	◎			
3	立場の異なる読み手を説得する 書く内容に合わせた適切な言葉の用い方について理解させる。		◎		○			
		批判的に文章を読まれることを想定して、文章の構成や論理の展開を工夫させる。	○	◎				
		"	○	◎				

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【「現代の国語」の目標】

- 漢字力をつけよう。
 - ・月に2回全校一斉の漢字テストがあります。毎回100点をとるつもりで頑張りましょう。
 - ・希望者を募り、年3回漢字検定を実施しています。2年までに3級以上合格を目標に挑戦しましょう。
- 読解力をつけよう。
 - ・教科書の文章を、じっくり読み味わいましょう。
 - ・いろいろなジャンルの本(評論文)を読み、ものの見方・考え方を広げましょう。
- 表現力をつけよう。
 - ・作文やスピーチに取り組むことによって、自分の考えや意見を人に伝えましょう。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 1つの単元の授業の流れは、次のようになります。
 - ① 教科書を読みます。
 - ② 出てくる漢字や難語句について、辞書を用いて調べ確認します。
 - ③ 本文を読解します。
 - ④ 学習課題ノートを用いて内容を確認します。
- ノートは、板書に加えて口頭で示された重要ポイントも記し、工夫された「自分のノート」を作りましょう。
- できれば国語辞典を用意し、わからない語句はその都度調べましょう。
- 思考力、判断力や表現力を養うための発展学習を行います。主体的に取り組みましょう。

【家庭学習】

- 漢字は毎日欠かさず練習しましょう。
- 本を読んだり新聞に目を通したりして、見聞を広げましょう。

【定期考査】

- 教科書をじっくり読み返し、ノートや学習課題ノート、プリント類を見直しましょう。
- 特に漢字は正確に書くことを心掛けましょう。
- 教材から学んだことや得た知識、考えたことなどをまとめておきましょう。

【その他】

- 将来進路に関わって、小論文が必要になる人も多いと思います。気になった新聞記事を貼ったり、気に入った文章などを書き留めたりするノートを一冊用意すると良いでしょう。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度の三つの観点から評価します。	
評価の規準	1 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します) 出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。) 課題提出状況等
	2 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します) 出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。) 課題提出状況等
	3 学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します) 出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。) 課題提出状況等
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績を総合的に評価